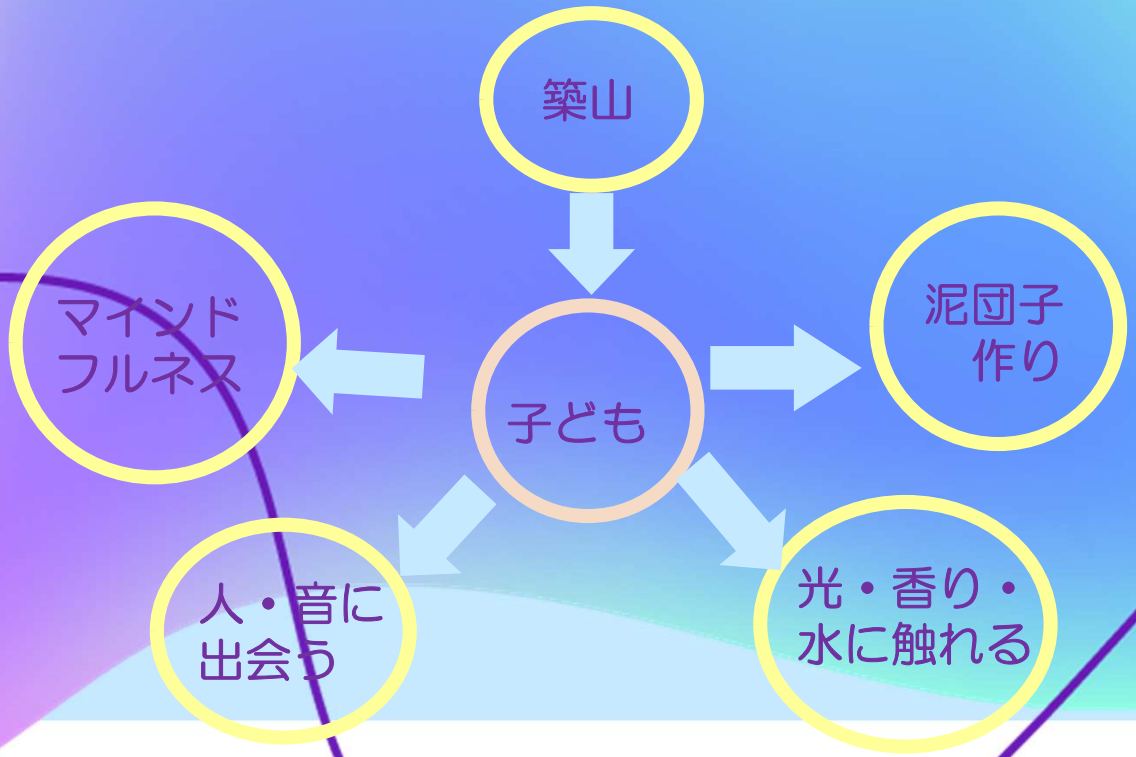
テーマ五感を育む

品川区立大崎保育園

【設定理由】

きらきら光るものを見つけて「きれい、光ってる」と表現する子、手を伸ばしてその光を触ろうとして、手に光が移ることの不思議に出会う子、同じものを見ても、感じ方はその子一人一人で違うことに気づき、「保育の中にある、日常の中にある、当たり前を、当たり前ではない視点で見ていけたらと思い、様々な活動を行い、子どもたちが知りたいことを探求できるように取り組んできました。どんなこと・もの・ひと・げんしょうに出会って、どんなことを感じるかはその子次第！感じたことを感じたままに表現したり、感じたことをもっと知りたいと取り組んだり、心を動かして、五感を育むことを保育者と一緒に楽しみました！

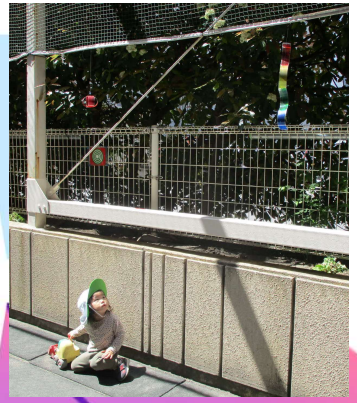
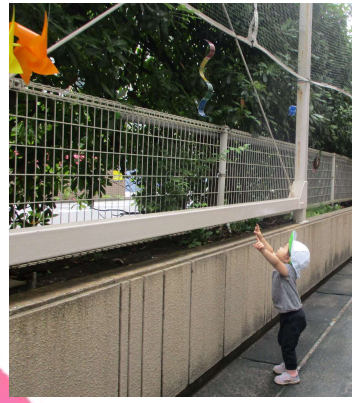
「さぁ　今日は何に出会うかな？」とワクワクできる保育内容を環境を通して行っています。

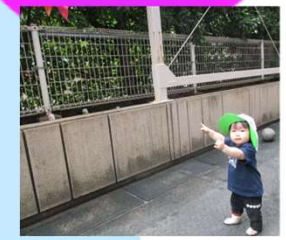


4歳児
☆土に出会う
☆・砂、土、スロープ
☆土で泥団子を作ると、硬く作ることができ、また、磨いていくこともできることを知ると繰り返し楽しむ姿が見られるようになりました。どうしたら硬くなるのか友達や保育者と考えながら作ることを楽しんでいました。色々と試して、考えたように作り上げることができると、自分の発見を友達に教える姿も見られました。築山では、冬に霜柱ができ、「どうしてここに氷があるの？」と2～5歳児が不思議を楽しみました。また、３～5歳児は霜柱を虫眼鏡でみて、氷の形を見たり、光に充てて反射する様子をじっくりと見て、不思議の面白さに触れていました。

4，5歳児
☆音に出会う
☆様々な楽器の音や身近な物が楽器になることを知り、音楽への興味関心を広げました。（園内に演奏家をお招きして演奏会）
☆身近なもので音を鳴らしたり、捨てるはずのものが楽器となり演奏することができることに、子ども達は魅力を感じて聴きいっていました。「これってこんな音がするんだね」「保育園にある〇〇はどんな音がするんだろう」と話し、実際に音を鳴らしたり、音探しをしたりすることを楽しみました。

1、2歳児
☆光に出会う
☆カラーフィルムや、風車など
☆園庭や保育室に仕掛けておくと、その物に光が当たって、色のついた光が差し込んでくることで、光を感じ手を伸ばしたり、目で追ったりしていました。
なんでだろうと不思議そうに色つきの光を見ていた子どもが、色を付けていた物の存在に気が付いた時に「ぱっ」と目を輝かせ「あった！」と指さしする瞬間がありました。そこから、自分の影に気が付くなど色々と試す姿が見られるようになりました。



3歳児
☆風に出会う
☆カラービニールで作ったタープや風車
☆目には見えない風をどのように感じるか、また、感じたことを遊びに展開できるかを考え、様々な仕掛けを設定しました。風車が回りだすと、なぜ回っているのか不思議に感じ、じっと眺めていると、風が止まったり吹いたりすることに合わせて、止まったり動いたりすることに気が付いたり、タープの下に立ち、風が吹くたびにたなびくタープに手を伸ばしたりしていた。また、タープの動きに合わせて三輪車を早く漕いで下をくぐり抜けたりしていました。

２歳児　5歳児

☆香りに出会う

小麦粉粘土や、パン粉粘土にお茶の葉などを入れて香りをつけたり、柚子足湯を設定したりしました。香りを通して、感じたことを口々に話をしたり、香りから連想したことを話したりしていました。

生活する中で、出会う様々な香りだが、香りを意識して活動してみると、普段香りの育ちをねらっての活動をしていないことに気が付きました。様々な場面で香りも感じられるような育ちにつなげていけるように保育者が意識することで子どもたちが今まで出会ったことの無いことに出会えることを知り、この保育者の意識がとても大切だと感じました。

2歳児

くんくん

お茶だ！

おいしそうな匂い！

5歳児

一年の取り組みを通して

「五感を感じる保育」を年間を通して意識して保育を行う中で、子どもたちの思いもよらない姿が見られ、その姿を受け、保育の楽しさを感じることができました。

子どもの興味や関心に合わせて環境を設定し、探求することを子どもたちとともに楽しむことができました。

普段何気なく、通り過ぎてしまっている、影、光、香り、風、などの自然現象に意識を向けると、とても素敵な世界が見えてきました。